

国際交流員ザブリーナ・リンの「コラム」

日本にいるドイツの国際交流員



JETプログラムとは

私が日本に来てから、下野市にいる理由をよく聞かれますので、今月はJETプログラムについてお話ししたいと思います。

JETプログラムとは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、地方公共団体が総務省、外務省、文部科学省及び財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施しています。このプログラムは、外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを通し、日本と諸外国との相互理解の増進と、日本における地域の国際化の推進に資することを目的として、昭和62年度に開始されました。平成24年度で開始26年目を迎え、招致国は、当初の4か国から39か国に、参加者も848人から4,330人へと、事業は大きく発展してきています。

現在、4,000人以上もいる全国のJETプログラム参加者の中で、ドイツ人参加者が何人かというところ、大体10人くらいしかいません。その中の大勢は私のような国際交流員のCIR(CIR=Coordinator for International Relation)つまり、姉妹都市行事の

ときに通訳をしたり、皆さんに語学講座をしたり、外国の文化を伝えたりする役割です。一人だけはALT(ALT=Assistant Language Teacher)として埼玉県でドイツ語を教えています。

英語圏の人と比べると、ドイツからの参加者は非常に少ないです。その理由は、残念ながら皆さんドイツ語よりも英語に興味があるからです。確かに英語は世界中でよく使われている外国語ですが、深い日独関係を忘れてしまっているのは残念だと思います。日本で毎日使われている言葉や専門用語で、ドイツ語はよく出てきます。ニュースでもよく使われている「エネルギー」や「アルバイト」、「アウトバーン」などはドイツ語からの外来語です。また、子供が大好きな「ゲミ」もドイツの言葉です。英語は誰でも話せますけど、ドイツ語ができればジェームズ・ボンドの映画の悪役のオフナーが来る可能性も高くなりますし…冗談通じているかしら?!?

全国にいる国際交流員

私は、ドイツのCIRとしてJETプログラムに申し込んで、選ばれまし

た。その後、CLAIRが職場を決めて、下野市で働くことになりました。

他のドイツのJET参加者がいる地域も紹介したいと思います。日本の南に行くくと、九州に4人のドイツ人JETがいます。それぞれ、宮崎県宮崎市、小林地市、熊本県熊本市、佐賀県有田町で働いています。他は、茨城県の守谷市、石川県かほく市、青森県六ヶ所村、北海道札幌市にいます。それぞれの職場によって、仕事の内容は違いますが、大体のCIRは、市町村とドイツとの姉妹都市関係の為に、ドイツの文化を紹介したり、場合によってはドイツ語を教えたりします。四国の方には、徳島県徳島市、鳴門市に二人のドイツ人CIRがいます。特に鳴門市はドイツとの関係が深いです。皆さんは坂東町という地名をご存知ですか?かつて徳島県坂野郡にあった町で、現在では鳴門市坂東地区となっています。ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン作曲「交響曲第9番の日本初演の地」として知られています。現在は、鳴門市ドイツ館という博物館があり、第一次世界大戦のドイツ人捕虜収容所(坂東俘虜収容所)の記念施設として1993年に建てられました。時間があれば、ぜひ行ってみてください!

ところで皆さん、2006年の映画「バルトの楽園」はご存知ですか?先ほど紹介した坂東俘虜収容所についての映画です。10月のイベントはこの「バルトの楽園」鑑賞をします。下のコラムもぜひご覧になってください。

国際交流員リンの「コラム」第5回

Movie Time!

ドイツの映画を見よう!

「バルトの楽園」Ode an die Freude
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベンの交響曲第9番はドイツよりむしろ日本の方が人気がある。というのは、嘘でもないと思います。なぜでしょうか?なぜ日本人がこの曲を知るに至ったか、その理由は戦争が関係する話になりますが、結構面白いですよ。

「バルトの楽園」には様々な意見もありますが、ずっと見たかった映画です。映画館のように、美味しい物を食べながら、飲みながら一緒に見ませんか?好きなようにおつまみやお菓子などを持ってきてください。ただし、ゴミは持ち帰っていただくようお願いいたします。映画には、年齢制限はありません。申し込み不要、先着順です。お気軽にいらしてください。お待ちしております。

■日時 10月14日(日)
午後2時~4時30分

■場所 下野市スポーツ交流館 2階
大会議室(下野市大松山1-7-1)

■参加費 無料

■申し込み 不要。ただし先着順。

■定員 80名程度(会場に入口にリストを置いておきますので、いらした時に、お名前を書いていただければ幸いです。)

■問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)5555
✉shimotsuke@gmail.com